

産研 同窓会通信

2025年10月



大阪・関西万博へ行ってきたよ！
詳しくは活動報告をご覧ください

ご報告

- 退職者の紹介 ～産研での思い出～
- 産研の活動報告
- 卒業生紹介
- 第16回同窓会総会の報告

お知らせ

- 第10回産研ホームカミングデイ&第81回学術講演会(11月21日)

退職者の紹介～産研での思い出～(2025年3月31日退職)



中谷 和彦 教授
精密制御化学研究分野

2005年4月に精密制御化学研究分野に教授として着任しました。研究室は第一研究棟2階で古くて暗い研究室でしたが、数年後の耐震改修により同じく2階の一番東側に新しい研究室を構えさせていただきました。研究は生物有機化学、核酸化学を基盤とし、核酸を標的として生体内で遺伝子の働きを調節する低分子有機化合物の創成と応用を進めてきました。理学研究科化学専攻の協力講座を務めさせていただき、多くの学生と優秀なスタッフ、技術職員、事務職員の方々とともに、賑やかで楽しい研究生活を過ごすことができました。改めてお世話になった皆様に感謝申し上げます。在職中の思い出は、耐震改修や組織再編、そして、産研所長、大阪大学理事・副学長として、研究所・大学の運営にも携わったことなど、貴重な経験を多く積ませていただきました。2025年4月からは、「核酸標的低分子創薬研究分野」を特別プロジェクト部門に立ち上げさせていただき、特任教授として日本医療研究開発機構のプロジェクトを進めています。大規模な化合物ライブラリから標的核酸に結合する低分子化合物を予測する機械学習手法を研究し、核酸標的低分子創薬研究の加速と推進で社会にお役に立てればと考えています。



大西 政義 室長
技術室

私は、国家公務員初級電気試験に合格して1983年4月に文部技官として採用されました。産研は、その前年の1982年に文部省令組織として全国でも数少ない国立大学附置研技術室を設置いたしました。大学の附置研究所として、学生や若手研究者の自由闊達な活動を支援することもさることながら、いち早く技術職員の組織改革も実施しておりました。以降退職まで42年間、試作工場において研究室から依頼された各種実験装置・部品・治具等の試作を行ってきました。思い返せば、第14代小泉所長から現在の第29代黒田所長まで、時代の流れとともに幾度か改組が実施されてきましたが、「産業に必要な自然科学の基礎と応用に関する研究」という設置当初の目的は変わらず、時代に即した研究を行っている環境で多くの分野の研究支援にモノづくりにより携わることができ感謝しております。また、所属しておりました技術室には頼りになる有能な仲間が多くいました。退職時には、「60の手習い」と称してエレキギターをいただきましたので、これから頑張って練習したいと思います。

退職後は、大阪大学安全衛生管理部において、選任衛生管理者として学内の安全衛生管理業務を行っております。巡視の際私の姿を見かけることがございましたら、是非お気軽にお声がけください。

複合知能メディア研究分野 八木 康史 教授も2025年3月31日をもってご退職となりましたが、今年度は様々なご事情が重なり、来年度に寄稿いただくこととなりました。ご了承ください。



産研同窓会のFacebook／Instagramについて

昨年度より運用を開始しました同窓会のFacebookとInstagramですが、まだ軌道にのっておらず、あまり投稿等ができていない状況となっております。広報室などと連携した運用方法を現在模索しておりますので、ご了承くださいますようお願いいたします。

Facebook

<https://www.facebook.com/profile.php?id=61563000827462>

Instagram

https://www.instagram.com/sanken_dousoukai/



「第81回学術講演会」&「第10回産研ホームカミングデイ」について

今年度の学術講演会・産研ホームカミングデイは11月21日(金)に開催されることとなりました。管理棟講堂において対面形式によるリアル開催となります。今年は「医療のための産業科学」をテーマとし、東京大学大学院理学系研究科 菅 裕明 教授にご講演いただくこととなりました。ホームカミング特別講演会においては大阪大学大学院医学系研究科長・医学部長の石井 優 教授がご講演くださいます。18時から懇親会も予定しておりますので、同窓会員の皆さまもぜひご参加ください。



大阪大学産業科学研究所
第81回学術講演会・第10回産研ホームカミングデイ
「医療のための産業科学」
開催日: 2025年11月21日(金) / 会場: 管理棟1階 講堂



■ホームカミング特別講演会／13:00～14:10

特別講演

大阪大学大学院医学系研究科長・医学部長
大阪大学大学院生命機能研究科 教授 石井 優
「IN VIVO VERITAS～生体を見て分かる生命現象の時空間組織多様性の解明」

■学術講演会／14:20～18:00

学外講演

東京大学大学院理学系研究科 教授 菅 裕明
「特殊ペプチド創薬とネオバイオロジクス創薬」

学術講演

産業科学研究所 第1研究部門 教授 植村 隆文
「フレキシブル電子回路を用いた低ノイズ生体計測システムの開発」

学術講演

産業科学研究所 第2研究部門 教授 細貝 知直
「次世代加速器技術の創薬への展開」

学術講演

産業科学研究所 第3研究部門 教授 山口 哲志
「1細胞解析のための光材料化学」

学術講演

産業科学研究所 ナノテクノロジーセンター 教授 谷口 正輝
「AIナノポア検査法からウイルス物質工学へ」

■ポスターセッション／13:00～展示、18:00～発表兼懇親会

<https://www.sanken.osaka-u.ac.jp/gakujutu/81/>

多くの皆さまのご来訪をお待ちしております

2024年9月～2025年8月まで



新任教授として
清水昌平先生と中島悠太先生が着任されました。



小口多美夫先生が子どもたち向けにサイエンス教室を開催！テーマは「磁石の不思議」。実験を交えた分かりやすい解説に、参加した子どもたちから歓声が上がり、大盛況のイベントとなりました。

今回は、ジンギスカンパーティが開催され、200 人以上が参加。香ばしい肉の香りと共に盛り上がり、アームレスリング大会などのイベントも大好評で、会場は熱気に包まれました！



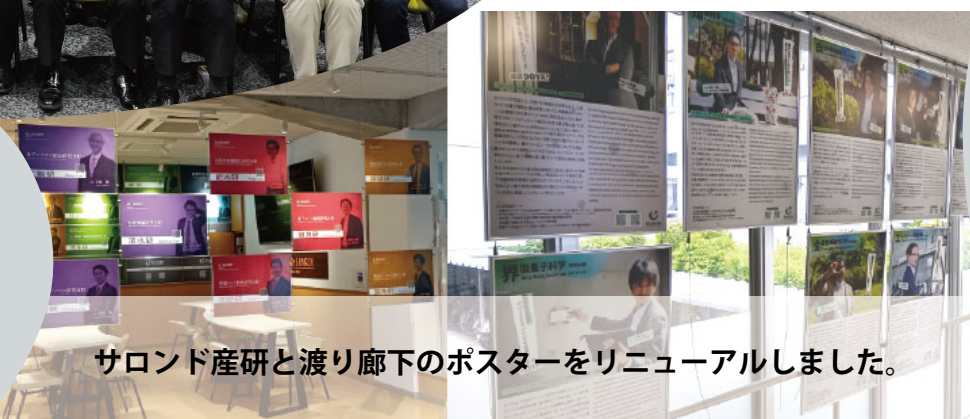
産研の先生方をはじめ、OBの先生方も万博にて出展や講演を行われました。最新の研究成果や取り組みを発信し、多くの来場者との交流が行われるなど、大いに注目を集めました。



産研所長を務められた八木康史先生と中谷和彦先生がこのたび退職されました。長年の貢献に感謝申し上げるとともに、今後のご活躍を心よりお祈りいたします。



技術室では、新たなメンバーを迎え、団結力を高めるためにオリジナルのTシャツを揃えて活動を実施しました。



サロンド産研と渡り廊下のポスターをリニューアルしました。

ベルギー・imec 本部にて第 13 回 imec Handai International Symposium を開催。産研、情報科学研究科をはじめ、医学系や基礎工学系など多領域から 60 名以上が集結。半導体や AI、医療分野の研究発表と活発な議論が展開されました。



卒業生紹介～近況を報告していただきました～

昨年度より新たな取り組みとして、第1部門、第2部門、第3部門、ナノテクセンターから一人ずつ卒業生や研究者を紹介し、近況等を報告していただくコーナーを設けました。近況のみならず、在学時の思い出などなんでも自由に語っていただいています。今後も継続して取り組んでいきたいと思いますので、卒業生の皆さま、ご協力くださいますようお願いいたします。



第1研究部門

- 氏名: 原 聡さん
- 現職: 電気通信大学大学院情報理工学研究科・教授
- 在籍: 鷲尾研究室

私は2010年から2013年まで産業科学研究所の知能推論研究分野(鷲尾研究室)に博士後期課程の学生として在籍していました。その後、企業と国立研究所とを経て、2017年より同分野の助教、2020年より准教授としてお世話になりました。そして、鷲尾先生のご退職とほぼ同時期の2024年5月に現職へと移りました。思い起こせば10年弱を産業科学研究所で過ごしたわけで、そこで得た経験は計り知れないものがあります。

私は学生時代から機械学習の研究に取り組んできました。博士後期課程の時期はビッグデータブームが始まった時期で、IBMのワトソンが話題になっていたことを覚えています。その後の機械学習・人工知能の発展は皆様をご存知の通りです。私が博士の学位を取得してからまだ10年余りですが、機械学習・人工知能を取り巻く環境は大きく変化しました。

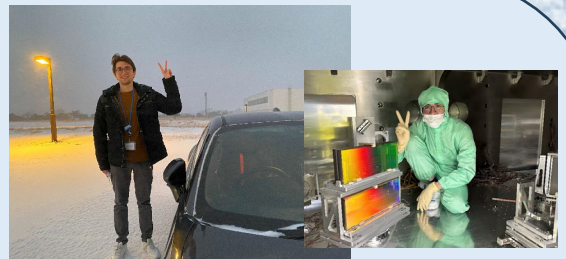
私はこの春より電気通信大学で自分の研究室を立ち上げました。まだ学生3名、特任助教1名、非常勤研究員1名、スタッフ1名の小さな研究室ですが、機械学習・人工知能の信頼性や、機械学習の量子分野への応用など様々なテーマに取り組んでいます。

今後も面白い研究に取り組むとともに、これまで皆様からいただいた温かいご支援やご指導を、今度は私が学生たちに還元していきたいと考えています。

(研究室ホームページ) <https://sites.google.com/gl.cc.uec.ac.jp/hara-lab/>

第2研究部門

- 氏名: ロンドピエール アレクサンドルさん
- 現職: 三菱電機 先端総研・主任研究員
- 在籍: 細貝研究室



私は2022年から日本に来ました。阪大産研では2年間、ポスドクとして、そして特任助教として勤務していました。細貝先生のグループで、レーザープラズマ加速に関する研究に取り組み、実験と光学シミュレーションを行っていました。

実験場所は遠く(兵庫県佐用町 Spring-8)にありましたが、とても楽しく、たくさんの新しいことを学ぶことができました。博士課程(フランス)ではナノ秒レーザーを使っていたので、今回はCPAフェムト秒レーザーという異なる技術に触れられて、貴重な経験になりました。

産研のバーベキューは暑かったですが、とても良い思い出です。いろいろな優しい方々とお話しできましたし、モルックのトーナメントも楽しかったです！(今のPhD学生である佐藤さんと一緒に頑張りました！)

教授の細貝先生や特任教授の佐野先生には多くのサポートをいただき、とても安心して研究に取り組むことができました。水田さんにもいつも大変ご協力ありがとうございました。

そして2024年からは、産業応用の分野に進みたかったため、三菱電機の先端技術総合研究所に入社しました。現在は主任研究員として、レーザー切断用の連続レーザーや、半導体基板に穴をあけるためのナノ秒・ピコ秒パルスレーザーの研究開発に取り組んでいます。

さらに、今年の12月ごろには私はパパになる予定です！)

※日本に来日されてまだ3年のロンドピエールさんが日本語で寄稿してくださいました。語尾の表現など、ほんの少しだけ細貝研究室の皆さんに手を加えていただきました。



第3研究部門

- 氏名: 村田 亜沙子さん
- 現職: 九州大学総合理工学研究院・准教授
- 在籍: 中谷研究室

皆さま、ご無沙汰しております。2010年から2022年まで、大阪大学産業科学研究所・精密制御化学研究分野(旧中谷研究室)に研究室スタッフとして在籍し、RNAを標的とする低分子化合物の研究に取り組んでおりました。中谷先生をはじめ、研究室のスタッフや多くの学生の皆さんと共に、RNAの構造や機能を制御する分子ツールの開発を通じて生命現象の理解と低分子の応用を目指した日々は、とても充実したものでした。

現在は独立し、九州大学総合理工学研究院にて研究を続けています。私の研究室がある筑紫キャンパスは、博多駅から鹿児島方面へ電車で20分弱とアクセスも良く、キャンパス内には産研とも縁の深い先導物質化学研究所があり、大学院教育(総合理工学府)も連携して行っています。産研と同様に、多様なバックグラウンドを持つ教員や学生が集まる環境は、私にとって非常に馴染み深い場所です。とはいえ、研究テーマと大学院教育の軸が完全に一致しているわけではないため、学生には私の研究室が見えづらいこともあり、もっと目立つように研究を頑張らねばと感じる日々です。研究室運営の難しさを実感しつつ、週末には家族と博多湾へ釣りに出かけるなど、適度に息抜きしながら福岡での生活を楽しんでいます。

最後に、産研の皆さまのご活躍を心よりお祈り申し上げます。またお目にかかれる日を楽しみにしております。

ナノテクセンター

- 氏名: 高見 英史さん
- 現職: 旭化成
- 在籍: 田中研究室



この度は、このような近況報告の機会をいただき、ありがとうございます。私は2008年に田中研の一期生として産研に加わり、2014年に博士後期課程を修了するまで6年間お世話になりました。私は基礎工学部出身であった為、同期の多くは豊中キャンパスの研究室を選択しておりましたが、産研にある最新実験設備や研究に集中できそうな雰囲気惹かれ、何となく産研の研究室に入りたいと思っておりました。そんな中、当時の川合研究室から独立して研究室を立ち上げておられた田中先生と廊下の端で面談し、モノづくり(材料設計・製作)と物性評価を両方行いながら、新規デバイスを開拓していくスタイルに魅力を感じ、田中研でお世話になることに決めました。元来、新しい事に挑戦することが好きだったので、研究テーマはもちろん、研究室の歴史を創っていく過程が面白く、とにかく色々な事を経験させていただき(眉をひそめられるような事を含む)、研究室の方々や産研の包容力にとっても感謝しております。現在は旭化成で水素関連の技術開発をしておりますが、こちらも挑戦の連続で、産研で鍛えられたフロンティア精神を胸に頑張っております。昨今は社会情勢や地球環境の変化が激しく、まさに一寸先は闇の状態ですが、優れた技術には現状を突破して一筋の光を生み出す力があると思っておりますので、産研出身者として、より良い未来を創り出すことに貢献していきたいです。

卒業生紹介につきまして、自薦他薦を問いませんので、こんな仕事をしていることを紹介したい、こんな趣味に取り組んでいることを紹介したいなど、近況報告にご協力いただける方はぜひ事務局までご連絡ください。このコーナーがきっかけで他業種との繋がりが生じ、新たな研究開発の可能性が広がるなど、更なる産研同窓会のネットワーク拡大を目指したいと考えています。

産研同窓会総会を開催しました

2025年3月6日(木)、第16回産研同窓会総会を開催しました。今年も参集とオンラインによるハイブリッド形式での開催となりました。総会は川合会長の進行のもと行われ、役員交代についての審議や、2024年度の活動状況報告ののち、2025年度の活動計画について意見交換がなされました。同窓会活動の活性化について、役員の方から様々な提案がありましたが、現状の人的エフォートにて実現可能な方向性を探っていくこととなりました。今後、イベントなどを企画する際には、会員の皆様にもご協力をお願いすることがあるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

【役員リスト2025年4月1日現在】

会 長	川合 知二	名誉教授(23代所長)
副 会 長	黒田 俊一	所長(所長任期中)
	小口 多美夫	名誉教授
監 事	吉田 陽一	名誉教授
	増田 敏裕	元事務部長
運営委員	田川 精一	名誉教授
	西嶋 茂宏	名誉教授
	安蘇 芳雄	名誉教授
	笹井 宏明	名誉教授
	柏原 昭博	電気通信大学教授
	田部 信重	元事務部長
	永井 健治	教授
	田中 慎一郎	準教授
	相原 千尋	技術室長
	矢田 昌子	総務課長



【2024年度会計報告】

○収 入: 252,007円
(内訳) 252,007円(前年度繰越金)
37円(利息収入)
21,000円(新規入会者/永年会費)
●支 出: 1,860円(同窓会ポスター作成)
10,000円(産研フェスタ賛助金)
◇次年度繰り越し: 261,184円



同窓会長より



産研同窓会の皆様、今年の夏を無事乗り切りましたか？ 体調を崩さず元気で毎日を過ごされたでしょうか？ 暑さと豪雨に振り回された夏も終わり、秋がやってきました。

恒例の産研ホームカミングデイが11月21日(金)に開かれます。今年度の全体テーマは「医療のための産業科学」で、産研ホームカミングデイの講演者は大阪大学 医学系研究科研究科長・教授 石井 優先生です。地球沸騰化と少子高齢化が進む今、産業科学研究所が医師の先生方と協力して、どのように健康寿命を延ばしていける技術開発ができるか、何かヒントを頂く良い機会だと思います。

産研同窓会は、産研の更なる発展と卒業生・現職員・学生の交流を深めるためにいくつかの取り組みをしています。いちよう祭、産研フェスタ、学術講演会・ホームカミングデイなど産研が関係する様々な行事への協力や同窓会通信の発行に加えてFacebookとInstagramを始めています。産研関係の情報を広く発信していく予定です。皆様、小さなことからでもよいので、進んで産研の発展を応援しましょう。

川合 知二

産研在籍中の大学院生、教職員、産研関係者の方はいつでも同窓会への入会が可能です。

入会方法については下記までお問い合わせください。

ご意見ご要望等のご連絡もお待ちしております。

産研同窓会(SANKEN Alumni Association)

〒567-0047 大阪府茨木市美穂が丘8-1 / TEL:06-6879-8380/FAX:06-6879-8509

E-mail:DOUSOUKAI@sanken.osaka-u.ac.jp / URL:https://www.sanken.osaka-u.ac.jp/dousoukai/

